



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2018年3月12日】

第1293回

2017-2018年度 第30回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング

「我等の生業」

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

卓話者

郷土史研究者 平田 稔 氏

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

毎週、会長スピーチをさせて頂いておりますと、この一週間の事象と照らし合わせて、ロータリーの事を考えることが多々ございます。先般は冬季五輪での明るい事象でした。この1週間は海外でも国内でもかなり重大な事象が発生・発覚してきております。私は頭の中ではその度々に、「四つのテスト」の言葉が啓示されます。～ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。言行はこれに照らしてから・・・(1) 真実かどうか (2) みんなに公平か (3) 好意と友情を深めるか (4) みんなのためになるかどうか・・・そして改めて「基本理念」に触れますと、〈ロータリーの

目的〉ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。(1) 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること(2) 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること(3) ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること(4) 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。」と謳ってあります。現在、国内・国外で発生・発覚している事象の当事者の方々はロータリアンではないかもしれませんが、然しながら、これらの「倫理的指針」は「共通な不変なるもの」の筈だと、自身に言い聞かせております。

幹事報告 (中島 三千代 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)
「会長ノミニー (2019～2020年度会長) 研修セミナーのご案内
日時：平成30年5月19日 (土) 13:00～16:00
場所：ホルトホール大分 (大分駅南) 2F 201・202会議室
出席義務者：会長ノミニー (2019～2020年度会長) ※会長ノミニーがご欠席の場合、幹事ノミニーがその次の会長予定者

卓話予定

- 3/19 「株式投資について」永田 在東 氏
- 3/26 「PETS及び地区大会 出席報告」
- 4/ 2 「観桜例会」(於:日本料理「きた川」)
- 4/ 9 「地区研修・協議会」報告(パート1)
- 4/16 「地区研修・協議会」報告(パート2)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>



寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて4.7%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：7.1%増）、約5千万円の増加となりました。2月単月の寄付額も、この3年間で最も高い額となり、財団設立50周年の下半期は順調に推移してい

ます。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

マレーシア米山学友会総会

3月4日、マレーシア米山学友会（会長：黄麗容さん）の総会がペナンで開催されました。2016年9月の創立総会以来、初めての総会となり、学友17人のほか、日本在住の学友2人がスカイプで参加し、日本からは第2590地区前米山記念奨学委員長の高橋敏昭氏ご夫妻が参加しました。

総会は日本語で進行され、事業報告・会計報告がなされたほか、5月からは毎月の会合を再開するなどの活動計画が活発に話し合われました。創立時の会員21人から倍増し、現在は会員数58人。黄会長は、「創立時にも来て下さった高橋さんご夫妻に学友会としての成長を

見ていただけて嬉しい。首都クアラルンプールでも会合を増やし、養護施設訪問など奉仕活動も計画していきたい」と、今後のさらなる飛躍を誓いました。



「こどもの日」に小学校支援 — タイ米山学友会 —

タイの「こどもの日」にあたる1月13日、タイ米山学友会の学友・家族30人がスパンブリー県のワットブングカー小学校を訪問して、支援プロジェクトを行いました。

同学友会が昨年初めてこの学校で奉仕活動を行った際、バンコク近郊にも関わらず、子ども



の学ぶ環境として足りないものが多いことに驚き、必要なものが揃うま

で支援を続けることを決めたそうです。今回も、学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集めた浄水器・ウォータークーラー・冷蔵庫・スポーツ用品・制服、文房具など多くの物資を寄贈しました。また、育ち盛りの児童たちのために、学友会からランチやアイスを提供。米山のシンボルマークをあしらった特製のTシャツも全員にプレゼントし、食後は共にゲームなどをして、笑顔のひとときを過ごしました。

同学友会のシュティカーン・テプサン会長は、「全校児童と保護者の皆さんが、私たちの訪問を心待ちにしてくれていました。子どもたちも昨年より打ち解けてくれて、充実した交流をもつことができました」と、語りました。